

新型コロナウイルス感染症対応についての確認事項（舞鶴工業高等専門学校）

1. 新型コロナウイルス感染症に対応して、教育課程の実施、授業の方法等について、 学生の学習の質を維持するために行った取組の概要を確認したい。	
回答欄	根拠資料・データ（提出は任意）
【遠隔授業の実施・実施期間】 本校で遠隔授業を実施した期間は以下の通りである[C-1-01_「授業方法(1)」]。 ・専攻科生、本科4・5年生：令和2年5月8日～6月12日 ・本科2・3年生：令和2年5月8日～6月19日 ・本科1年生：令和2年5月8日～6月25日 また、対面授業開始日は以下の通りである。 ・専攻科生、本科4・5年生：令和2年6月15日 ・本科2・3年生：令和2年5月22日 ・本科1年生：令和2年5月29日	C-1-01_「授業方法(1)」開寮・入寮および対面授業の開始について」
【遠隔授業期間中の取組・遠隔授業実施の通知】 令和2年4月2日の臨時教員会議において、GWまでは臨時休校することを決定し、GW前までの授業課題作成を各学科・部門に依頼した[C-1-02_「授業方法(2)-1)」]。同日に学生および保護者にも通知し[C-1-03_「授業方法(2)-2)」]、4月13日にMoodle (LMS) により「臨時休校期間中の課題」を公開した[C-1-04_「授業方法(2)-3)」]。	C-1-02_「授業方法(2)-1_R20402教員会議議事概要」 C-1-03_「授業方法(2)-2_令和2年度前期授業開始について（4月2日時点）」 C-1-04_「授業方法(2)-3_臨時休校期間中の課題」
【遠隔授業期間中の取組・実施方法の検討】 「情報機器および通信環境に関するアンケート」を在学生（令和2年4月7日）および新入生（令和2年4月9日）に対して実施し、通信環境が不十分な学生が一定数いることが判明した[C-1-05_「授業方法(3)-1)」]。この結果を受け、通信量軽減の観点から、遠隔授業の形式は、双方向型ではなくオンデマンド型に統一することを決定した[C-1-06_「授業方法(3)-2)」]。また、時間割を作成し、時間割通りに遠隔授業を進めることを基本とし、担当教員が授業時間中にMicrosoft Teamsによる双方向の会話、Moodleのチャット機能、メールなどにより即座に質問に対応できるようにしたC-1-06_「授業方法(3)-2)」]。課題はMoodleを利用してPDFファイルで提出することを基本とした。その方法についても動画を交えて説明をした[C-1-07_「授業方法(3)-3)」]。	C-1-05_「授業方法(3)-1_第1回アンケート結果」 C-1-06_「授業方法(3)-2_遠隔授業の実施について」 C-1-07_「授業方法(3)-3_PDFファイル提出の練習」
【遠隔授業期間中の取組・実施方法の検討】 遠隔授業特設ページを開設し[C-1-08_授業方法(4)-1]、時間割通りに実施できるよう、時間割表から各科目のMoodleのコースにジャンプできるようにした[C-1-09_授業方法(4)-2、C-1-10_授業方法(4)-3]。Moodleのコースの設定についても、受講者が混乱しないように、可能な限り統一するよう努めた[C-1-11_授業方法(4)-4]。 実験実習科目についても、可能な限り遠隔授業により対応した。多くの実験実習科目や保健体育などのテーマについては、動画やスライドなどのオンデマンド教材を作成して実施した。一例として、 ・機械工学科1年科目「入門機械実習（テーマ：マイクロメータの使い方）」[C-1-12_授業方法(4)-5] ・建設システム工学科2年科目「測量実習（テーマ：水準測量「オートレベル据付け）」」[C-1-13_授業方法(4)-6] ・電子制御工学科3年科目「電子制御工学実験（テーマ：ダイオード・トランジスタの静特性）」[C-1-14_授業方法(4)-7] ・2年科目「保健体育Ⅱ（テーマ：ストレッチとウォーミングアップ）」[C-1-15_授業方法(4)-8] の教材を資料に示す。 また、科目の特性上、遠隔授業に対応できない実験実習科目のテーマについては、授業の入れ替えにより対面授業開始後に実施するよう対応した。	C-1-08_「授業方法(4)-1_遠隔授業特設ページ」 C-1-09_「授業方法(4)-2_遠隔授業時間割」 C-1-10_「授業方法(4)-3_Moodleのコース：物理ⅡA（2年生全クラス）」 C-1-11_「授業方法(4)-4_Moodleにおける設定の注意」 C-1-12_「授業方法(4)-5_機械工学科1年科目「入門機械実習（テーマ：マイクロメータの使い方）」」 C-1-13_「授業方法(4)-6_建設システム工学科2年科目「測量実習（テーマ：水準測量 オートレベル据付け）」」 C-1-14_「授業方法(4)-7_電子制御工学科3年科目「電子制御工学実験（テーマ：ダイオード・トランジスタの静特性）」」 C-1-15_「授業方法(4)-8_2年科目「保健体育Ⅱ（テーマ：ストレッチとウォーミングアップ）」」
【遠隔授業期間中の取組・ホームルームの設定】 朝のSHR（ショートホームルーム）については、Microsoft Teamsを利用した双方向型で実施することとした〔（再掲）C-1-06_「授業方法(3)-2)」]。このように担任の声を毎朝聞くことで、学生との繋がりを維持するだけでなく、学生の規則正しい生活での学習を促進するように努めた。	（再掲）C-1-06_「授業方法(3)-2_遠隔授業の実施について」
【対面授業開始後の取組・学生の状況に応じた対応】 新型コロナウイルス感染症に対する不安から、対面授業の出席が困難な学生については、オンデマンド教材の提供などにより遠隔授業で対応した[C-1-16_「授業方法(6)-1)」]。また、学生1名については前期期末試験を遠隔で実施した（Microsoft Teamsにより教員がリアルタイムで試験監督）[C-1-17_「授業方法(6)-2)」]。 なお、現在は全学生が対面授業に出席している。	C-1-16_「授業方法(6)-1_登校しない学生の対応依頼」 C-1-17_「授業方法(6)-2_遠隔試験（開始前から提出までの流れ）」について」
【対面授業開始後の取組・実験実習科目についての検討】 実験実習科目は、科目の特性上、密になる傾向があるが、グループ割の変更、部屋の分散化などにより対応している。対応の一例を以下に示す。 ・電子制御工学科5年科目「制御工学実験」では、通常、午前に実施するが、午前と午後に分け、実施場所も2部屋から4部屋に変更している[C-1-18_「授業方法(7)-1)」、C-1-19_「授業方法(7)-2)」]。 ・電子制御工学科1年科目「メカトロニクス演習Ⅰ」では、ロボット教材1セットを複数名（グループワーク）で共同使用していた。今年度は1名ずつが1セットを使用とし、実施場所も1部屋から2部屋に変更した[C-1-20_「授業方法(7)-3)」]。	C-1-18_「授業方法(7)-1_2020年度電子制御工学科5年科目「制御工学実験」の実施スケジュール」 C-1-19_「授業方法(7)-2_2019年度電子制御工学科5年科目「制御工学実験」の実施スケジュール」 C-1-20_「授業方法(7)-3_HP掲載記事：電子制御工学科1年科目「メカトロニクス演習Ⅰ」
【学事日程の調整】 14週分の授業時間数を確保するために、学事日程を以下のように変更した〔（再掲）C-1-01_「授業方法(1)」]。 ・夏季休業期間を3週間に短縮した[C-1-21_「授業方法(8)-1)」]。 ・祝日（令和2年7月23日・24日および9月21日・22日）についても授業実施日とした[C-1-21_「授業方法(8)-1)」]。 ・前期中間試験については、期間を設けて実施することはせず、学修到達確認を適宜、課題提出、小テスト等により評価することとした[C-1-22_「授業方法(8)-2)」]。 なお、不足する1週分については、空き時間を利用した補講、課題提出により対応することとした[C-1-23_「授業方法(8)-3)」]。	（再掲）C-1-01_「授業方法(1)」開寮・入寮および対面授業の開始について」 C-1-21_「授業方法(8)-1_R2年度行事予定表」 C-1-22_「授業方法(8)-2_中間試験について」 C-1-23_「授業方法(8)-3_令和2年度前期科目の授業時間数について」

2. 新型コロナウイルス感染症に対応して、学生の学習及び生活の支援について行った取組の概要を確認したい。	
回答欄	根拠資料・データ（提出は任意）
【遠隔授業期間中・通信環境の整備】 「情報機器および通信環境に関するアンケート」を在学生（令和2年4月7日）および新入生（令和2年4月9日）に対して実施した〔（再掲）C-1-05_「授業方法(3)-1」〕。通信機器や通信環境に難があると回答した学生に対しては、担任が個別に状況調査を行い〔C-2-01_「学習支援(1)-1」、C-2-02_「学習支援(1)-2」〕、状況に応じてWiFiルータやパソコンの貸し出しを行った〔C-2-03_「学習支援(1)-3」、C-2-04_「学習支援(1)-4」〕。	（再掲）C-1-05_「授業方法(3)-1_第1回アンケート結果」 C-2-01_「学習支援(1)-1_電話依頼」 C-2-02_「学習支援(1)-2_担任調査フォーム」 C-2-03_「学習支援(1)-3_WiFiルータ」 C-2-04_「学習支援(1)-4_遠隔授業の実施について」
【遠隔授業期間中・クラス担任による学生のケア】 令和2年4月6日に臨時の担任会議を開催し、本科担任および専攻科コース長に対して、電話などにより該当クラスの学生個別のケアをするよう依頼した〔C-2-05_「学習支援(2)」〕。学生と話す内容は、健康面、悩み事、通信環境・通信機器の確認などである。	C-2-05_「学習支援(2)_担任・コース長へお願い」
【遠隔授業期間中・教科書販売】 令和2年4月9日に教科書販売の方法を学生及び保護者に通知した〔C-2-06_「学習支援(3)-1」〕。北近畿在住の学生は宅配便利用による販売もしくは4月18日・19日に学校販売（ドライブスルー）とした〔C-2-07_「学習支援(3)-2」、C-2-08_「学習支援(3)-3」〕。一方、北近畿以外在住の学生は宅配便利用による販売をした。	C-2-06_「学習支援(3)-1_教科書販売」 C-2-07_「学習支援(3)-2_教科書販売構内案内」 C-2-08_「学習支援(3)-3_教科書販売（校内案内図）」
【遠隔授業期間中・学寮からの荷物搬出】 緊急事態宣言発令中は、学寮に教材を取りに来ることが困難な状況であったが、地域ごとに分散させ、令和2年4月29日、5月2日・3日に教材（教科書、パソコン、製図器具等）を自宅に持ち帰る日を設定した〔C-2-09_「学習支援(4)」〕。	C-2-09_「学習支援(4)_学寮の荷物搬出」
【対面授業開始後・クラス担任による面談】 令和2年6月10日に、本科担任および専攻科コース長に対して、対面授業開始後の該当クラスの学生個別の面談および学生カルテの活用を依頼した〔C-2-10_「学習支援(5)-1」、C-2-11_「学習支援(5)-2」〕。	C-2-10_「学習支援(5)-1_学生面談と学生カルテ」 C-2-11_「学習支援(5)-2_学生カルテ」
【対面授業開始後・学生相談室による教員サポート】 令和2年6月13日からの帰寮・対面授業の開始に伴う学生の心理的問題に対応するため、「学生を迎えるにあたっての留意点」を学生相談室から全教職員に通知した（令和2年6月12日）〔C-2-12_「学習支援(6)-1」、C-2-13_「学習支援(6)-2」〕。	C-2-12_「学習支援(6)-1_学生を迎えるにあたっての留意点（学生相談室）」 C-2-13_「学習支援(6)-2_学生を迎えるにあたって」
【対面授業開始後・学習場所の確保（放課後の教室等開放）】 複数人が同時に利用可能な交流スペースや学習スペースを提供するため、平日は19時30分まで、土日祝日は16時30分まで各クラスの教室や、図書館1階のコモンスペース（アクティブラーニングスペース）を開放している〔C-2-14_「学習支援(7)-1」、C-2-15_「学習支援(7)-2」〕。また、試験前1週間については、平日・土日祝日のいずれも20時30分まで開放時間を延長している。平日は教務主事および学生主事が、土日祝日は教務委員会および学生委員会の委員が適宜、巡回をしている〔C-2-16_「学習支援(7)-3」、C-2-17_「学習支援(7)-4」〕。	C-2-14_「学習支援(7)-1_教室開放の掲示【0820訂正版】」 C-2-15_「学習支援(7)-2_第2回後援会役員会報告抜粋」 C-2-16_「学習支援(7)-3_（教員用）対面授業開始後の教室の開放と教員による巡回指導について（8月以降）」 C-2-17_「学習支援(7)-4_（教員用）教室等の開放に伴う教員割り当て」
【対面授業開始後・通信環境の整備（フリーWiFiの設置）】 図書館1階のコモンスペース（アクティブラーニングスペース）および第2体育館にフリーWiFiのスポットを設置し、令和2年7月1日から利用できるようにした（図書館1階は現在も継続して利用可、第2体育館は7月末までの利用）〔C-2-18_「学習支援(8)-1」、C-2-19_「学習支援(8)-2」、C-2-20_「学習支援(8)-3」〕。これにより、校内LANの制約（使用端末や閲覧URLの制約）が緩和されたインターネット環境を提供し、インターネットの学習面での活用や、学生のストレス軽減に対応した。	C-2-18_「学習支援(8)-1_Wi-Fi図書館」 C-2-19_「学習支援(8)-2_後援会合同支部総会資料抜粋」 C-2-20_「学習支援(8)-3_フリーWi-Fi設置の継続について」
【対面授業開始後・学生のストレスケア（朝の見守り）】 学生委員会による登校指導（朝の見守り）を実施し、健康調査の回答の呼びかけやマスクの着用を指導した。〔C-2-21_「学習支援(9)」〕	C-2-21_「学習支援(9)_学生委員会による朝の見守り」
【対面授業開始後・学生のストレスケア（eスポーツ大会）】 学寮では、6月中旬からの対面授業開始後、外出制限を行った。この間、学生のストレス解消や学生交流を目的として、eスポーツ大会を実施した（令和2年7月2日・9日・16日に実施）〔C-2-22_「学習支援(10)-1」、C-2-23_「学習支援(10)-2」、C-2-24_「学習支援(10)-3」〕。	C-2-22_「学習支援(10)-1_「第2体育館でのeスポーツ大会」について」 C-2-23_「学習支援(10)-2_申し込みフォーム」 C-2-24_「学習支援(10)-3_eスポーツHP掲載記事」
【対面授業開始後・衛生環境の整備】 感染予防のための手洗い・手指消毒が徹底されるように、構内の手洗い場を増設した。〔C-2-25_「学習支援(11)」〕	C-2-25_「学習支援(11)_手洗い場設置HP掲載記事」
3. 新型コロナウイルス感染症に対応して、寮における安全対応について行った取組の概要を確認したい。	
回答欄	根拠資料・データ（提出は任意）
【寮食堂における取組】 ・対面を避け一方向への座席レイアウトに変更した。 ・バイキング形式を止め、予め盛り付けられた物を受け取る方法に変更した。 ・食事時間をフロア（階）単位の指定制に変更した。 ・不要な発声やスマートフォン等の使用を厳禁とし、速やかに食事を終えるよう指導した。 ・食事中以外はマスク着用とした。 ・食堂の入り口と窓を開放し、十分な換気を行うことを徹底した。	C-3-01_「新型コロナウイルス感染症対応に関する寮生活マニュアル（最終版）」（P6） C-3-02_「第2回学寮委員会議資料20200527」（P3）
【入浴時における取組】 ・入浴時間を延長し、フロア（階）単位で入浴場所および時間を指定し分散させた（大浴場、小浴場、シャワー室）。 ・入浴時間は20分以内とし、速やかに終えるよう指導した。 ・密集を避けるため、脱衣室のロッカーを一部撤去し、空間を確保した。（大浴場、小浴場） ・入浴中も窓を開け、換気を行った。 ・洗い場については、1つ以上席の間隔を空けることとした。	C-3-01_「新型コロナウイルス感染症対応に関する寮生活マニュアル（最終版）」（P7） C-3-03_「寮食事および入浴時間（6月27日～7月10日）」 C-3-02_「第2回学寮委員会議資料20200527」（P3）
【寮室における取組】 ・他室への立ち入りを禁止した。 ・二人部屋はカーテンで仕切り準個室とした。 ・二人部屋では対面にならないよう距離を取らせた。 ・個室では定期的な換気を行い、二人部屋では、原則、常に換気するよう指導した。 ・人が密集する自習室、ラウンジは、当面の間、使用禁止とした。 ・部屋の室内およびドアノブ等は、各自で消毒することとし、共有部分は各階の清掃当番が毎日消毒するよう指導した。	C-3-01_「新型コロナウイルス感染症対応に関する寮生活マニュアル（最終版）」（P5、7、8）

	C-3-02_「第2回学寮委員会議資料20200527」 (P3)
【寮生活における取組】 ・寮内でのマスクの着用の徹底。 ・朝の点呼時の放送で、検温および登校前の健康調査への回答を呼びかける。 ・帰寮時や食堂入室前、用便後における手洗いの徹底。 ・長期休業直後の外出禁止措置（2週間）。 ・外出を控えさせるため、門限時間を22時から20時に変更した。 ・要所にアルコール消毒液を設置し、手指消毒を徹底させた。	C-3-01_「新型コロナウイルス感染症対応に関する寮生活マニュアル（最終版）」（P4～6） C-3-02_「第2回学寮委員会議資料20200527」 (P3)
4. 新型コロナウイルス感染症に対応して、学生の課外活動について行った取組の概要を確認したい。	
回答欄	根拠資料・データ（提出は任意）
【課外活動の行動計画の作成とその実行】 新型コロナウイルス対策行動計画に基づき「新しい生活様式」を踏まえた行動基準を策定し、クラブ・同好会ごとに活動計画を作成して運用した。 ・1か月毎の活動計画を作成し感染予防に活用した。 ・活動時間の短縮を実施した。 ・感染予防策を講じたトレーニングセンターの利用ルールを作成した。 ・クラブ・同好会それぞれの感染予防策を策定した。	C-4-01_「活動時間の短縮」
【対外試合参加においての対応】 ・主催者、競技団体および開催施設による感染拡大対策の遵守を徹底した。 ・移動時を含め学外での活動においても学内と同様の行動をとることを徹底指導した。 ・参加に対して保護者の同意を得た。 ・府外や感染拡大地域での開催の場合は参加の可否を学内で審議することとした。	C-4-02_「公立校大会__健康管理と注意」 C-4-03_「公立校大会__参加確認書」 C-4-04_「卓球部活動確認書」
5. 新型コロナウイルス感染症への対応として、遠隔授業に関するFDの実施により、教育の質の向上や授業の改善に結び付いている事実があるか確認したい。	
回答欄	根拠資料・データ（事実がある場合は提出してください）
【FDの内容等（学内での講習会・勉強会）】 遠隔授業を実施するにあたり、教務委員会が中心となり、講習会や勉強会を開催した。 ・Moodle利用者講習会（令和2年4月6日・8日）[C-5-01_「FD(1)-1」、C-5-02_「FD(1)-2」] オンデマンド型の遠隔授業を想定し、LMSであるMoodleの基本的な操作方法（コース作成、オンデマンド教材のアップロード、課題の回収方法など）の説明した[C-5-02_「FD(1)-2」]。また、ホームルームや学生相談を双方向型で行うことを想定し、Microsoft Teamsの基本的な操作方法を説明した[C-5-02_「FD(1)-2」]。 ・遠隔授業のための勉強会（令和2年4月13日）[C-5-03_「FD(1)-3」、C-5-04_「FD(1)-4」、C-5-05_「FD(1)-5」] 遠隔授業の方針、コンテンツ作成方法、データ圧縮方法、MoodleおよびMicrosoft Teamsの操作方法などを説明した[C-5-03_「FD(1)-3」、C-5-04_「FD(1)-4」、C-5-05_「FD(1)-5」]。	C-5-01_「FD(1)-1 Moodle利用者講習会の開催について」 C-5-02_「FD(1)-2 Moodle講習会Ver02」 C-5-03_「FD(1)-3 勉強会01」 C-5-04_「FD(1)-4 勉強会02ビデオ撮影によるコンテンツ作成」 C-5-05_「FD(1)-5 勉強会03Moodleの設定、Teamsの設定など」
【FDの内容等（高専機構の講習会）】 国立高専機構本部から「高専における新型コロナウイルス感染症への対応及び遠隔授業の推進について」の動画や資料の提供があったので、教職員に視聴を促した（令和2年4月7日・14日・21日・28日、5月12日・19日・26日、6月2日・9日・16日・23日の計11回）[C-5-06_「FD(1)-6」、C-5-07_「FD(1)-7」]。	C-5-06_「FD(1)-6 【機構本部】高専における新型コロナウイルス感染症への対応及び遠隔授業の推進について」 C-5-07_「FD(1)-7 【機構本部】高専における新型コロナウイルス感染症への対応及び遠隔授業の推進について（動画）」
【FDの成果・効果（教員の授業技術の向上）】 講習会や勉強会により、前年度は一部教員に限られていたMoodleやMicrosoft Teamsの利用が全教員に広がり、遠隔授業期間中は実施した全科目でのオンデマンド教材の提供が実現できた〔（再掲）C-1-08、（再掲）C-1-09、（再掲）C-1-10〕。また、科目によっては遠隔授業期間が終了した後も、Moodleを利用した授業展開（授業資料の公開や課題提出）が継続されている〔（再掲）C-1-10、C-5-08_「FD(1)-8」〕。とくに、授業資料の公開は、学生の学習に役立っていると考えている。	（再掲）C-1-08_「授業方法(4)-1 遠隔授業特設ページ」 （再掲）C-1-09_「授業方法(4)-2 遠隔授業時間割」 （再掲）C-1-10_「授業方法(4)-3 Moodle のコース：物理IIA（2年生全クラス）」 C-5-08_「FD(1)-8 Moodle のコース：制御工学Ⅰ(3S) 2020」

【FDの成果・効果（アンケートによる効果の確認と改善）】 遠隔授業の改善を行うため、遠隔授業が始まって1週間後に2回目のアンケートを実施した[C-5-09_「FD(2)-1」、C-5-10_「FD(2)-2」、C-5-11_「FD(2)-3」]。アンケート結果からいくつかの問題点が把握できたので、教務主事から各教員に対して、遠隔授業の方法の改善を依頼した[C-5-12_「FD(2)-4」、C-5-13_「FD(2)-5」、C-5-14_「FD(2)-6」]。また、アンケート結果で良い授業であった科目を開示し、授業改善の参考にするように促した[C-5-10_「FD(2)-2」]。 その結果、PDFファイルの文書中にしか課題の有無を明示していなかったものが、PDFファイルを開かなくてもわかるように改善された[C-5-15_「FD(2)-7」]。また、「視聴する動画が長すぎる」という問題に対しては、機械工学科1年科目「入門機械実習」では、25分程度の長さであった動画が短くなるように改善された[C-5-16_「FD(2)-8」、C-5-17_「FD(2)-9」]。 さらに、「課題が多くて大変である」という結果を受け、3週間の遠隔授業を終えた後の1週間（令和2年5月29日～6月4日）、授業ノート・課題の整理期間を設けた[C-5-18_「FD(2)-10」]。 これらの改善を行った結果、夏季休業前に実施した3回目のアンケート結果から、「授業について行けるか心配」という項目については、大きく改善が見られた[C-5-19_「FD(2)-11」]。	C-5-09_「FD(2)-1_第2回アンケート結果」 C-5-10_「FD(2)-2_第2回アンケート結果（記述1）」 C-5-11_「FD(2)-3_第2回アンケート結果（記述2）」 C-5-12_「FD(2)-4_遠隔授業のアンケート結果（途中経過）」 C-5-13_「FD(2)-5_遠隔授業における課題の注意点（お願い）」 C-5-14_「FD(2)-6_遠隔授業における課題の注意点（お願い）続報」 C-5-15_「FD(2)-7 Moodle のコース：制御工学Ⅱ(4S)」 C-5-16_「FD(2)-8 機械工学科1年科目「入門機械実習（テーマ：計測（ノギス）」」 C-5-17_「FD(2)-9 機械工学科1年科目「入門機械実習（テーマ：マイクロメータの使い方）」 C-5-18_「FD(2)-10 授業ノート・課題の整理期間について」 C-5-19_「FD(2)-11_第3回アンケート結果」
--	---